

会 議 録

会議の名称	平成26年度 第4回 本荘まちづくり協議会
開催日時	平成26年11月21日(金) 午後2時～午後3時20分
開催場所	市役所 「正庁」(4階)
出席者氏名	「出席者名簿(網掛け)」のとおり
欠席者氏名	「出席者名簿」のとおり
会 議 次 第	
1. 開会	
2. 部長挨拶	
3. 会長挨拶	
4. 協議	
○市総合計画・本荘まちづくりビジョン(素案)について	
5. 次回開催内容説明	
6. 閉会	
会議の経過	別紙のとおり

本荘まちづくり協議会委員名簿

出席者（18名）：網掛け	
役職	氏名
会長	渡辺義弘
副会長	菊地長司
委員	荘司 仁
委員	田中准子
委員	高井重保
委員	保科慶一
委員	小松良太郎
委員	佐々木保之
委員	川津利幸
委員	小野秀一
委員	堀 幸子
委員	中嶋 豪
委員	鈴木 登
委員	工藤久美子

役職	氏名
委員	阿部里美
委員	伊藤春美
委員	高原一心
委員	佐々木律子
委員	佐々木 亮
委員	小石裕英
委員	佐藤留美子
委員	今野直子
委員	村岡兼幸
委員	嶋崎真仁
委員	縄野博美
委員	中村 鎮
委員	竹内 武

平成26年度第4回 本荘まちづくり協議会 行政出席者名簿

◎市総合計画・本荘まちづくりビジョン（素案）の策定について

職 名	氏 名	摘 要
企画調整部長	伊 藤 篤	
企画調整部総合政策課		
課 長	原 田 正 雄	
参事兼課長補佐	柴 田 浩 樹	

◎事務局

職 名	氏 名	摘 要
企画調整部地域おこし課		
課 長	今 野 政 幸	
主席参事兼課長補佐	高 橋 孝 紀	
地域おこし班長	菅 野 基	
主 任	高 橋 香 奈 子	

会議の経過

平成26年度 第4回 本荘まちづくり協議会（要旨）

平成26年11月21日（金）

午後2時00分 開会

午後3時20分 閉会

開会（進行：地域おこし課 今野課長）

本日出席予定の方が全て揃いましたので、ただいまより平成26年第4回本荘まちづくり協議会を開会いたします。始めに、企画調整部長の伊藤からあいさつをさせていただきます。

企画調整部長 伊藤 篤

～部長あいさつ～

地域おこし課 今野課長

続きまして、本荘まちづくり協議会会長の渡辺会長からあいさつをお願いいたします。

本荘まちづくり協議会 渡辺会長

～会長あいさつ～

今野課長

～資料確認～

ここで協議に入ります前に、報告いたします。本日の出席された委員は27名中18名でございます。まちづくり条例第7条第2項の規定によりまして2分の1以上の委員が出席しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

それでは会議の進行にあたりましては、条例第7条第1項の規定によりまして、会長が議長を行うものとなっておりますので、会長から進めていただきますのでよろしく願いいたします。

渡辺会長

それでは次第に従いまして本荘まちづくりビジョン（素案）について総合政策課からご説明をお願いいたします。

柴田参事

～地域別まちづくりビジョン素案説明～

A委員

実際の政策そのものは、その後に入ってくるものなので、基本的な構想として、こういったものを活用していくということを書いているんだと認識しています。なので各論で実際どうなるのかといったところを非常に聞きたいところはあるのですが、そこはこれから固めらるんだらうと思っております。気になっているところは、1つは産業集積自体は確かにあるのかもしれませんが、それがうまく活用できていないということが実情としてあるだろうと、それも含めて新しい産業をどのように考えるのかということ盛り込んでもいいのかなと、つまり産業誘致でいくのか、それとも新産業を創出するという方向でいくのか、検討を加えるのか、それによっておそらく動き方が大きく変わってくるんだらうなと考えるので、どの方向で考えるのかというのは少し加えた方がよろしいのかなと思いました。もう一つは、全般的に内向きなところがあって、他所の知をどう入れていくのかということに対するビジョンがうまく書けてないような気がしています。もちろん大学と連携していくということで、知を呼び込んでいこうということは、市としての政策としてはわかるのですが、例えば大学がそのまま教員がいることだけではなくて、大学が他所の地域の人たちを呼び込んで交流を図っていくっていった時に、この地域というのは、不便です。そういうこともこの段階で加えていただかないと、その後の市の政策に反映されていけないんじゃないかという懸念がありますので、是非そこら辺は入れていただきたいと考えております。

B委員

企業立地法促進法の全国第1号の地域指定を活用しとあるのですが、全国第1位になるとどのような特典がるのか、説明してもらいたいです。

柴田参事

経済産業省、国の法律でございまして、平成19年に企業立地促進法という法律が制定されております。これまでは、工場再配置関連の法律ということで、全国一律の支援といたしますか、地方に工場を誘致するに当たっての法律でございましたけれども、この企業立地促進法ということは、既存の産業集積、ある特定の分野の産業集積がもうなされていると、この産業集積を活かしてさらにこの産業の強靱化、集積度を上げることによりまして、新たな雇用の創出とか新産業の創出に向けての支援をするという性質のものです。全国第1号でも第2号でも恩恵は同じですが、全国第1号の地域指定ということで活用すると、本荘工業団地にマザー工場を誘致、立地した時には、この法律のメリットを生かしながら市としては、固定資産税というものが企業からいただける税収のもの大きな一つでござい

ます。3年間固定資産税を免除するという条例があるのですが、市では減収になりますので、減収部分を国からの減収補填で約75%が国からの補填がくるという市にとっては財政措置のメリット、立地した企業につきましては、新たな集積に対して、新たな雇用に対する国からの支援があると、合わせて初期投資の特別償却に対する国からの補助、支援があるという法律です。

C委員

人口減少というのが我々まちづくりの中で大きな課題になってますけれども、その雇用にどうするかということの中で、地場産業にふれる項目があるのか、あとは、中小企業とか商店いわゆる街の商店というところが構想の中に入っているものなのか、その二点教えていただきたいと思います。

柴田参事

基本計画の中で新たな商業機能の活性化とか、例えば駅前商店街の空き家店舗を活用して、県立大学システム科学技術学部経営システム工学科の大学院の연구원や学生のみなさんが、チャレンジショップに挑みながら街の賑わいを創出していくとか、そういったものが基本計画中の商業振興のくくりの中には網羅しているところでございます。

D委員

雇用の関係なのですが、過疎の街が6年で移住者200人をプラスするというところで、林業就職相談会が首都圏で行われているようなのですが、本荘もこういうことをやっておられるのか、首都圏に声をかけて首都圏から人を戻すという形、そして人口を増やしていると、空き家なりの活用、それから研修中の経費とか都会から若者を戻すにはそういう面も必要なのではないかと思われるのですが。

企画調整部長

市では、仕事と住む場所これを確保して、都市からの移住者を呼び込めないか、こういったことを平成27年度から取り組もうということでございます。現実的にはいろいろな都市近郊に広く呼びかけまして、そういった取り組みを展開することも一つですが、もう一つには、地元出身者の方々に帰りたい方々を地元の企業とマッチングしながら、地元の企業では新たな事業展開の中で必要とされる人材もありまして、そういった地元企業の必要な人材と帰ってきたい人の市出身者の方々のマッチングをしたいと考えております。これは取り組んでからの話しですが、年に何件の成果が出るのか見通しはつきませんが、その検討に入っているところでございます。それは今回この協議会に提案いたしました本荘地域のまちづくりビジョンではなく、由利本荘市全体の基本構想あるいは基本計画この中で触れていきたいと考えております。今回地域別まちづくりビジョンの本荘地域については、

どちらかと言いますと、由利本荘市全域発展のために本荘地域が成すべき役割こういった観点でまとめさせていただいたところがございますのでご理解いただきたいと思います。以上でございます。

D委員

本荘というと商業機能といいますかこれがメインなのですが、農林等第一次産業に関連してはまるっきり外のことだという感じで捉えるのですか。

企画調整部長

それぞれの特徴に基づく要点をこの中に打ち出して、やはり地域の振興のためには農林水産業或いは商工業がバランスよく発展するということが必要なのは当然であります。それを総花的にいきますと、焦点がぼやける、ですから各地域の特徴的なところをそれぞれの特徴を生かした標記というようなことになっておりますのでそこを理解いただきたいと思います。

渡辺会長

人口減少を止めるとか、それから子育てのしやすい環境を作るとか、そういう問題と本荘地域のビジョンを考えるという観点からすると農村部と例えば都市部と若干中身が違ってくる、総合的には人口減少対策等が盛り込んでこられるというただいまの部長の説明だと思うのですがどうでしょうか。

D委員

由利本荘市は広すぎるのです。本荘地域を商業地域で限定してどうこうと進めるのは無理があるのではないかと。まわりを切り離す、各地域と本荘地域の捉え方が違うのではないかなと、そこを本荘の商業地域に限定してそこをまちづくりをする、ちょっとひっかかってしまいます。

企画調整部長

市全体の農業振興あるいは農林業振興というようなことであれば、地域別整備方針、地域別ビジョンに係わらず全体の方針として、その分野ごとの方針の中に謳われてくるというようになります。なぜこの地域別まちづくりビジョンが必要なのかということですが、合併した際にその地域ごとの発展をどう担保するのか、計画の中にどう担保するのかといった議論が多くされたところ。地域ごとに予算を配分するといったような方策もあるでしょうが、合併して一つの自治体となった以上難しいだろうということで、それではその地域の特徴或いは地域の風土に根ざした整備方針を立ち上げて、それを実現するような努力が必要ではないかと考えたところ。それを担保にしてそれぞれの地域

の発展を目指そうではないかと、これが今までの議論の中にあっただころでございます。そういった背景から打ち出されまして、この地域別まちづくりビジョンが素案として提出している訳ですが、特に本荘地域においては、先ほど説明がありましたように、地域の高次な都市機能を持つ地域として発展が望まれる、由利本荘市一つを大きな生活圏とした場合に、やはりその生活圏の中には、都市機能は必ず必要だということになりますので、ある程度集積した本荘地域にその更なる整備をしていきたいというようなことがこの地域別まちづくりビジョン本荘の概要でございます。

渡辺会長

今、部長がおっしゃった中心地域が発展しないと、周辺も発展しないというようなことをおっしゃる方もおりますので、そういう風にして考えていくと、その立場で旧本荘市内をどのようにしたらよいかというように考えるかというように私は思うのですが。だからここで地域別ビジョンだというのだと思うのです。他にご意見ございませんか。

E委員

地域別まちづくりビジョンなものですから、本荘地域に完結するようなビジョン、それが非常に目につくといいますか、中心になるわけで、これは仕方ないと思いますが、問題は本荘地域として完結できるというものはないと思うのです。先ほど部長も話されたように、由利本荘市全体のランドデザインと言いますか、そのような物があって、それをフォトマップに達成していくのか、もしくはランドデザインに基づいて地域別に事業を推進していくのかというような枠組みが見えないものですから地域別のまちづくりビジョンといっても掴みにくいというか、もう少し全体を捉えたビジョンがあってもいいのではないかという感じをしたところでした。産業集積でも人、物の流れにしても県内で完結するというよりは、県内外と一体となって連携しあって全体的に若しくはその中で由利本荘市が特化できるものを持続していくというような方向が見えればビジョンとしてはわかりやすい感じがします。できれば少し上のランクと言いますか、ランドデザインのようなものがあればもう少しわかりやすくなるのかなという感じをうけましたので、そのところははずれ出すのでしょうか。

柴田参事

人口減少に歯止めをかける戦略方針として、国内外から人と財が集まる由利本荘ブランドという新たな地域価値を創造しながら力強く新たなまちづくりを実現していくと、ランドデザインと言いますか、戦略方針を立てておりました。E委員がおっしゃられたことも加味しながら全体の構想計画に反映させていきたいと思っております。

F委員

地域別まちづくりビジョンということですので、また素案を修正していく形でしょうか。これで決定したいというものなのでしょうか

総合政策課

～素案に関して補足説明～

F委員

なぜこういう意見が出てくるのかということをお考えまして、みなさん、こういうものだろうというものはなんとなく見えているでしょうけれども、はっきりと目的、自分たちが到達したい点が多分見えないのだと思います。それがなぜかという、一段落毎に書いてあるのですが、全てにおいてこれがなぜ行われるかという一文がないのです。ある程度何のためにこうしていきますというところを書いていかないと、みなさんに由利本荘市でこういった素案を出して、作っている方々がこういうところを読んで欲しいというところが多分ばやけてしまっていると思うので、書きづらい部分はあるかと思いますが、何のためにどのようにして何をめざすのかという書き方をいただければ皆さんが文章を読んで議論しやすいものになるのではないかと思いますので、明確なところを単純に示していただければ、我々もやりやすいと思いますので、そういったところを意識しながら書いていただけると非常に助かるなと感じたしだいです。

原田課長

非常に貴重なご意見ありがとうございます。この素案だけ見せられてその前と後がないと中々頭に入りにくいと、多分これが100ページにも上る基本構想の中の市全体のビジョンを示した内の本荘地域の役割、基本構想の中とを見比べていくとこの政策を実現させるものだなというものが入ってくるかと思えます。これだけだと、ただ羅列したような印象を受けたのかと考えております。基本構想も政策が5つに分かれて人口減少に歯止めをかけるという究極の目的に全てベクトルが向かっていくという内容になっております。本荘地域は其中で何を担うのかと、今度面の中で8分割された役割、矢島にもその役割があり、岩城にもその役割があり、西目にもあると。それが足されて同じ方向を向いて一つの構想、10年後の由利本荘市の姿に向かってというピースなものですから分かりにくかったのではないかと思います。これが8つ並んで基本構想の中の後ろの方に入ってきますとそれがそれぞれの役割を持って一つの由利本荘市を形成しているというのが見えてくるかと思えますので、その辺お示しできる時になりましたら今日の意見を踏まえて直すところは直しながらお示しして参りたいと思えますので、前回基本構想の概要を配らせていただきましたが、その中に由利本荘市の目指すべき姿が書いてありましてその8分の1をここに載せたという風にお考え願いたいと思えます。よろしく願いいたします。

G委員

Gです。同じ様な質問になるかもしれませんが、今説明あったようにこの素案については前回の説明があった基本構想骨子案概要この上に載るペーパーということですか。

原田課長

この中に入るものです。

G委員

いずれ具体的なことは基本構想、基本計画、実施計画の中に出てくるということの様なので、そこが一番興味があるのですけれども、法律の総論のところのペーパー一枚でこれでいかがでしょうかと言われているような感じがしてならないのです。要は、これに全て10年後のビジョンがきちんと押さえきっていけば意見はないのですが、書いてあることは私もこの通りだと思うのですが、他に目指すべき物はこの先10年間の発展基準の中になのかということが、そこが一つ心配、というのは10年前に10年計画ということでスタートして10年間の経験をしたと思うのです。新たに来年からの10年計画を考えた時に、何かここではないのかなと。なぜそう思うかと言いますと、国療跡地とか防災公園計画とか駅の東西自由通路とかこれは情報として今の年度でも出ている内容です。この構想を具体的にしていくということなので、この先10年の中で優先順位が高いから盛られたということなのか、私は10年前に比べてかなり由利本荘市にも変化が出て今まで考えたこと以外に、この先10年後世の中が変わるとすればもっと書きたいことがあったのではないかと、その辺を危惧しております。それで、まちづくりと言っておりますけれども、お話している中で皆さんから出てくるのは、由利本荘に住んで良かったと由利本荘市に住んでいて幸福を感じるなど、由利本荘に住んでいて生きがいを感じるなどだから本荘に生まれて本荘に住んでいて良かったなど最近先輩方から聞くのです。要はそういう住民の声に向かっていることがまちづくりの基本ではないかと個人的に思いました。以上です。

企画調整部長

本来であればこの計画の一部を切り取った地域別まちづくりビジョンではなく、その内容をお示ししながら説明をするといういろいろご意見もあるのかなと思いますけれども、この地域別まちづくりビジョンは、合併前の本荘市、7町これを地域と言っていますが、地域別にこのビジョンを策定しているところがございます。これは合併したが故に各地域の特徴を活かしたビジョンをどの様に考えるのかといったところで、そういったところに着眼して策定したということで、図面にゾーニングといいまして、各地域の特徴を捉えた発展の方向を示すものがゾーニングでございますが、そのゾーニングを文章で表したというイメ

ージをしていただければと思います。先ほど申し上げましたように、総体が決まりますとお示しできるかと思いますが今回は本荘地域の全域の市民生活におけるこの地域の役割、由利本荘市全体の発展のためのこの地域の役割といった視点で捉えていただければと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

H委員

まちづくりということは、道だと思うのです。交通の便、暮らしやすさ。例えば本荘から秋田まで何分かかかるのか、東京まで何分かかかるのか、それが我々素人では一番簡単なまちづくりがよくなっていくことが見えるのではないかと思うのです。それからこの文章、まず基本的な部分、素人でもわかりやすい部分そういう入り口から持っていった方が一般の方が受け止めやすいのではないかと感じました。以上です。

D委員

A委員、一つお伺いしたいのですが、学生さんはほとんどが県外の方だと思いますので、本荘市で何が不足しているのか、いい面は何だったのかそういう面のアンケート、生徒の意見を、まちづくりに不足している面が何なのか、老後の問題とかそういう面を考えて意見をもらうということは難しいのでしょうか。

A委員

それは基本的にはできる話だと思います。ただ、言い出すことはだいたい想像できているというのが実情であります。多分、我々の期待から大きく外れたものがそのアンケートの結果から得られてくるのではないかという予想が今からしています。では果たしてそれでいいのですかということは問わなければいけないところかもしれないです。もちろん、アンケートを取ってそれを皆さんに開示してこういう風にしたらいいのではないですかという提言はできるとは思いますけれど、それはおそらく、この市が求めていることと大きく反りしたものが出てくる可能性があるということは考えておく必要があるのではないかと考えています。

D委員

将来を担う若者ですから、雇用とか遊び関係も場合によってはそういう施設があればという、それは逆に言えば市として誘致するとか、道路網の整備とかそうすると企業も誘致しやすくなると、そういう面で生徒の先を考えてせつかくここで学んだ生徒を、ここへ引き留めて就労してもらうという形にできないものかと、市としての構想の中にも必要ではないのかと思ひまして意見を聞いた次第です。

A委員

そういうお話であるとすれば、ビジョンに盛り込むかどうかというところがあって、発言をしなかったのですが、我々もそのようなアンケート以前も取った時に思ったことなのですが、あまりにも入ってきて学生がこの地域を知らなすぎるということに非常に懸念を持っておりまして、今具体的に秋田地域学というものを授業としてやっていかなければいけないのではないかとということを大学としてやっているところです。ところがこれに対して、授業を開催してくれる方を探さなければいけないのですが、適当な方がいらっしゃらないといえますか、そこは是非市に協力をさせていただきたいと思っていますところです。もう一歩進めますと、大学院生をどのように育てていくかというところで、地域と絡んだことをやって、地域変革の中間に学生を組み込んでいくということを考えられないかということをご提案していただいたのです。それは、僕らとしてはその方向を是非打ち出したいと思っていますところです。まだ個人的な話なので全体に集約している話ではないのですが、そういった時に逆に市としての受入先を整備できると非常に我々としては好都合であるし、市のためにも最終的にはなっていくだろうという風に考えています。ただそれを今のビジョンの段階で入れ込むのか、次の段階で入れ込むのかということがまだわからないので、情報はこの様な形でお話しましたので、是非そこは考えていただけると嬉しいかなという風に思っています。

渡辺会長

今日この地域別まちづくりビジョンの素案は最初に柴田さんからご説明がありましたけれども、基本構想、基本計画、実施計画という三段階のうちの基本構想の中に盛る事項だと思います。今度基本計画を立てる時にもっと具体的な物が出てくるだろうと感じます。市の総合政策課でもその様な感じでこの素案を作られたと思うのです。

もう少し時間はある様ですので、他にご意見ありましたらどうぞ。

I委員

この後、地域別まちづくりビジョンについてももう少し具体的な内容が出るというお話でしたけれども、今日の話をお聞いている中で、Eさんが先ほどおっしゃられた由利本荘市全体のランドデザインはということがありましたけれども、それは非常に大事なことだと思います。その時に、ランドデザインは出していると市の方でおっしゃいましたが、それはEさんが要望したランドデザインではないのです。Eさんの要望したランドデザインというのは、この由利本荘市全体の中でその後で伊藤部長さんがおっしゃられたこの地域を色分けしてと話しておりましたが、そういう物をおそらくEさんが欲しかったと思うのです。ですから由利本荘市各地域出来上がった結果、本荘市にはこういうものを期待しているのだと、全体を眺めながら旧本荘町としては、どの様な方向で、他の地域との関わりをどのようにしなければいけないのかということをお意見を述べていくことができると、本荘

だけで意見を言っても本荘だけにしかないのです。本荘が由利本荘市の中で果たすべき役割というものを、何も押さえていないことになるのです。ですから旧本荘の果たすべき役割が全体で何を期待されて、どういう方向でいかなければいけないのかということを考えていかなければいけないと思うのです。このために要望しますが、この次の会議の際には、その全体的なことを提示してほしいと思います。

以上です。

柴田参事

I 委員、大変貴重なご意見ありがとうございます。皆さまの貴重なご意見を反映させながら、由利本荘市の新たなまちづくりを実現するグランドデザインも含め、わかりやすい紙面作りを、みなさんと共に作り上げる新創造ビジョンを目指して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。みなさん貴重なご意見ありがとうございました。

渡辺会長

ありがとうございました。

それでは次に移りたいと思います。次回の開催計画案について事務局からお願いいたします。

菅野班長

～次回開催計画案説明～

渡辺会長

ありがとうございます。質問等ございますでしょうか。

無いようですので本日の会議を終了したいと思います。

ご協力ありがとうございました。